

平成 26 年度近畿グループ主催治験・臨床研究研修会



主催：国立病院機構本部近畿グループ事務所

実施：国立病院機構 京都医療センター

本研修会は、国立病院機構本部近畿グループ事務所が国立病院機構内の職員向けに計画した研修会で、毎年実施しているものですが、午後の研修会は、国立病院機構以外の方々にもご参加いただけます。

【日時】平成 26 年 12 月 12 日（金）13:00~17:20

【場所】国立病院機構 京都医療センター 新中央診療棟 4 階多目的ホール

【対象】医師・CRC・治験関係者

【参加費】無料

【申込み方法】日本医師会治験促進センターの会合のお知らせをご参照下さい。

<http://www.jmacct.med.or.jp/information/news.html>

- ◇ 参加者には受講後、受講証をお渡します。
- ◇ 本研修会は、日本臨床薬理学会認定 CRC 制度の「学会が認める研修会」に認定されています。
- ◇ 会場の都合上、参加いただけない場合がございます。その際は、先着順とさせていただきます。

【アクセス】<http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/html/guide/hospinfo/access.html>



<問合せ先>

国立病院機構京都医療センター 治験管理室 担当：山本

TEL：075-641-9161（代表）FAX：075-644-1442

E-Mail：chiken@kyotolan.hosp.go.jp



H26 年度 近畿グループ主催治験・臨床研究研修会プログラム

日時：平成 26 年 12 月 12 日（金）13:00～17:20

場所：国立病院機構京都医療センター 新中央診療棟
4階多目的ホール

| | | |
|-------------|---|--|
| 12:30～13:00 | 受付 | |
| 13:00～13:05 | 開会のあいさつ | 京都医療センター院長 中村 孝志 |
| | | 座長 |
| | 【特別講演】 | 京都医療センター臨床研究センター長 島津 章 |
| 13:05～13:50 | 臨床研究に関わる規制の変化について 質疑応答 | 大阪医療センター院長 楠岡 英雄 |
| 13:50～14:40 | 治験関連文書の電磁化に向けた第一歩 －IRB 審議の電磁化実装経験と今後の展望－ 質疑応答 | 北里大学 北里研究所病院 バイオメディカルリサーチセンター副センター長 氏原 淳 |
| 14:40～15:00 | 休憩 | |
| 15:00～17:05 | 【パネルディスカッション】 治験の効率化と質の向上を目指して～それぞれの立場から“ありのまま”を語り合おう～ | |
| 15:00-15:10 | 座長挨拶 | 【座長】 京都医療センター薬剤科長 北村 良雄 大阪南医療センター副看護師長 羽田 かおる |
| 15:10-15:30 | 国立病院機構本部中央治験審査委員会の 取り組み | 国立病院機構本部総合研究センター 治験推進室長 土田 尚 |
| 15:30-15:50 | 誰にでも分かりやすい I R B でないと意味がない！ | 京都医療センター副院長 高倉 賢二 |
| 15:50-16:10 | リスクに基づくモニタリングに関する基本的考え方と 治験依頼者の取り組み | アストラゼネカ株式会社 研究開発本部臨床開発統括部 スタディモニタリンググループ 2 マネージャー 松井 直也 |
| 16:10-16:30 | 医療機関における臨床試験の品質管理 ～リスクに基づくモニタリングの考え方を踏まえて～ 全体討論 | 京都大学医学部附属病院 看護部 看護管理室 看護師長 深川 良美 |
| 17:05～17:20 | 閉会の挨拶、アンケート | 京都医療センター臨床研究センター長 島津 章 |

